

第4回 新名寄市病院事業改革プラン策定検討会議 議事録

日時：平成28年2月4日（木）18:00～

場所：名寄市立総合病院 ICU 会議室

【出席】橋本副市長、臼田総務部長、田邊健康福祉部長、佐古東病院長、富田東病院事務部長、和泉院長、室野副院長、酒井副院長、鈴木副院長、北原副院長、益塚看護部長、早崎薬剤部長、前川医療技術部長

（事務局）市立病院事務部 岡村事務部長、佐々木総務課長、桶谷医事課長ほか

【欠席】木村財政課長

1. 開会（岡村病院事務部長）

2. 議題

（1）再編・ネットワーク化について

【座長】資料として前回会議の発言要旨が配られている。各自確認願う。
前回報告からの状況変化について事務局より説明を。

【事務局】岡村事務部長より説明

- ・士別市立における前回会議後の状況変化
- ・急性期患者増加時の下り搬送手段の検討

【座長】短い期間の中でも状況が変わっている。どれくらいフレキシブルな対応ができるということが視点の一つとなるだろう。

【委員】士別で内科医1名確保できたことは喜ばしいが、救急に係る要望は変わらないだろう。直接搬送の希望もある。救命救急センターとして受けなければならないが、市立病院の体制が十分答えることができるのか考えなければならない。士別の救急搬送患者の状況の把握が必要と考える。

小児科医は平成19年に名寄に集約した。小児科だけでなく他の診療科でもそういうことを考えられないか。

【事務局】本日、士別市立の事務局長が市立病院に来院し、救急の状況について資料の提示があった。追加資料として配布したい。

～資料配布。事務局より説明

【委員】士別からは、剣淵町の救急患者受入れが要望されているが、剣淵町からの搬送はどのくらいなのか？

【事務局】剣淵町は士別消防が受け持ち範囲なので、資料の数値は剣淵町からの搬送を含んでいるものと思われる。和寒町は、士別への搬送と旭川への搬送を使い分けており、士別への搬送は多くないと聞いている。

【委員】整形が、内科がといった話でなく、総合的に考えなければならない。士別市立の診療能力をはっきりさせていただきたい。名寄も無い袖は振れなく、要望を全部受けて、市立病院の診療に支障が生じてはいけない。できるだけ協力していくことは、グランドビジョンとしてはその通りだが、現実的には、士別市立の状況がはっきりしてから、個別に対応いくしかないのでは。

【委員】消化器内科では2月から受け入れを要望されており、要望に応じることを消化器内科医師間では確認している。一昨日の夜も士別当直医からの急患を受け入れた。担当医が聞いた話では、士別の当直医が士別の消化器内科医にコールしたところ、もう消化器救急は名寄で受けることになっていると言われて、名寄へ受入要請をかけたとのことであった。

今後、士別がどういう状況になるか分からないが、ちゃんとした体制立上げはない前提での話として、内科医が確保できたのであれば、専門外来を維持するために医師を派遣する必要性はないのではと考えている。士別の内科医が専門医の診療が必要と判断したのであれば、専門外来に紹介してもらおうというので良いと思うし、そのための診療体制を、医大にも協力要請をして構築したいと考えている。

医師については、医大医局に応援なり増員なりを相談することができるが、看護師については、医大から連れてくることはできない。医師、患者の問題だけでなく、看護師・技師といったパラメディカルについても考える必要がある。

士別からの外来患者が増加することを想定すると、外来はますます混雑することになる。その場合、名寄市立病院であるが、地域センター病院であり、混雑が生じ迷惑をかけることになるといった、名寄市民への説明が必要と思う。

【委員】士別では診療体制が縮小する中で、技師の業務量が減ってきていると聞いている。貴重な医療資源であり、身分の問題もあり難しいと思うが、人件費を折半するなど、マンパワーを共有することできないか？また、士別では血管造影装置更新の予算がつかなかったと聞いた。技師の研修も含めて人事交流を検討したい。

また、近隣医療機関では、コメディカルが一人職場であるところも多い。夏休み等の長期休暇時の応援を求められても、現在は人員不足から断っているケースもある。こういった件も検討する必要があると思う。

【委員】薬剤師も、士別の体制縮小により余剰状態になると思う。当院も含め、北北海道は、薬

剤師がなかなか来てくれない地域。士別の縮小がつづくのであれば、どう人事交流していくのか考える必要がある。

【委員】実際に外来では新患が増えている。病診連携を強力に推し進めていかないと、外来がパンクしてしまう。市民・地域への啓もう、近隣医療機関への協力依頼が必要。連携のとれそうな患者がどれくらいいるのか調査した方が良いと思う。また、紹介状の作成等も大変だが、診療報酬の改定で電子媒体でのやりとりも加算が可能になる見込み。ポラリスネットワークと関連して進めていくことも、これから連携をとっていくには重要。予測できるところは今から動いていくことが大事と考える。

【委員】来年どうなるかわからないのがこの地域の医療の現状。いまの現状を細かく盛り込むと逆に身動きがとれなくなると思う。プランはプランで大まかなフレームとして、詳細は別に協議した方が良いと思う。数値目標には、細かな見込を盛り込まなければならないが・・・

【座長】行政サイドの方からの意見は？

【委員】行政には地域包括ケアシステムの構築が求められている。病気、障害があってもなるべく多くの時間を自宅で過ごせるようにするためのもので、在宅でも入院中と同じレベルの医療サービス・介護を受けられる、また緊急時の対応が保障できる体制が必要となる。この体制整備に向け、市立病院と協議を進めさせていただきたい。

また、認知症患者は2025年には全国で700万人、名寄市内でも現在880人のところが1,700人になると予想されている。平成30年からは認知症初期集中支援事業を実施していくことになる。この部分についても市立病院とのさらなる連携が必要。

他にも退院支援、在宅医療、介護との連携にも協力いただいております、感謝申し上げます。

介護施設への感染予防等の指導もお願いしたい。また、定期・予防接種についても市立病院医師の協力が不可欠。予防接種の種類も増えており、子供の数は減っているが、予防接種の回数は増えている。小児科医のいる市立病院の信頼は厚い。今後とも受け入れをお願いしたい。

【座長】健康福祉行政面での制度改正による業務量の増加が見込まれるとのことで、広域連携も含めて、かなり市立病院にかかる負担が増えていくということになる。

前回、財政面の話はあまりできなかったが、これから病院に入る地方交付税がどうなるかは不透明な状態と認識している。これだけ広域となると、名寄市民へ説明をどうするか、地域のセンター病院として、周辺市町村から人的な面、財政面含め、どういう支援を受けられるか、もう一度協議の場を設定する必要があると、市財政部局としても考えている。病院経営もだんだん厳しくなっていくという状況が見えているので、経営分析も含めて、どこに手厚く支援すべきかも、名寄市として考えていかなければならない時期に来ていると思う。

前回に引き続き、様々なご意見を伺った。和泉院長にまとめとしてご意見を。

【委員】(和泉市立病院長) 地域医療構想を踏まえた形のプランを策定しなければならないが、地域医療構想自体が出来上がっていない。ほぼ、この会議での意見で出てきた方向性に向うと思うが……。国が言うような、この病院は急性期、この病院は回復期と、縦割りでできる地域ではない。急性期からある程度の回復期まで、慢性期から在宅というような、少しずつオーバーラップしながら全体を網羅しなければならないが、一番弱いところは回復期と在宅。地域包括ケアシステムの話もしたが、この辺の議論はできていない。結局は委託その他で、市立病院の職員が業務を担わざるを得ないことになってしまう恐れもある。

士別の問題では、確かに市立病院は、この地域の医療の中心を成しているが、だからと言って個々の病院に対して、こうしてほしい、こうあるべきだといったことを言える権限があるわけではない。もっと上というか行政が入った決定する場があれば……。今のところは士別の出方次第。すごく難しい問題と感じている。

最終的に数値目標をプランに盛り込むことになるが、業務をこなすためにはマンパワーが必要で、当然コストを要する。定住自立圏もあるが、この地域で市立病院が中心として地域医療を担っていくには、それなりの財政支援が無いと難しいと現段階では考えている。

【座長】財政支援も非常に重要なファクターとなっている。名寄市に限らず行政も財政状況は厳しいが、ここまで市立病院の受け持ち範囲が広域化するとなれば、相応の負担を求めたいという話はしていかなければならないだろう。一般会計が苦しい中で、どういう形で、どのタイミングでできるかわからないが検討していきたい。

これまで委員各位からご意見を伺ったが、基本的なコンセプトは見えてきたのではないかな。

- ・細部に入らず大きなフレームで設定（救急搬送、病診連携等のデータをふまえ）
- ・医師、看護師等のマンパワー確保（大学、近隣医療機関との連携）
- ・地域センター病院としての役割と市民啓蒙
- ・財政支援（市財政と病院事務局で協議して検討）

次回会議では、事務局と相談した上で、文書化したものを用意して議論することとしたい。

【事務局】先ほどの話にあった剣淵町からの搬送であるが、平成26年で105人であった。情報として追加したい。

3. 閉会